

議会要望に対する回答

要望事項	(1) J R 山田線の定時運行の確保について シカや落ち葉が原因で、列車がしばしば遅れる。時刻表通りの運行となるように、時間短縮と使いやすいダイヤ編成に加えて定時運行確保も、市から J R に対して働きかけるように要望する。
回答	J R 山田線は、シカ・クマなど動物との衝突や、落葉期には車輪空転によるダイヤの乱れが多発しています。 市といたしましても、使いやすいダイヤ編成などと併せて、その改善についても、再三、J R 東日本盛岡支社に働きかけてまいりました。 J R グループでは、盛岡支社に限らず、全社において、忌避音発生装置の設置や、フェンスの設置、保線作業の実施などの対策を講じていますが、その改善には至っておりません。 J R 東日本盛岡支社からも、自社だけの努力による改善は厳しい旨、自治体への協力も求められているところです。 よって、有害鳥獣の駆除など、J R と共に改善に向けて、取り組んでまいります。

議会要望に対する回答

要望事項	(2)区界市営住宅の譲渡、並びに移住促進のための利活用について 新区界トンネル開通により、盛岡市の通勤圏となることを踏まえ、区界市営住宅の希望者への譲渡、並びに定住・移住対策として利用促進を検討するよう要望する。
回 答	市営住宅は、住宅に困っている方に低額の家賃でお貸しするため建設した住宅です。 一定年数を経過し市営住宅として需要がないなど、所要の要件を満たした場合、入居者に対し適正な価格で払い下げることが可能です。 区界団地住宅につきましては、今後、入居者の希望を確認しながら、払い下げについて検討してまいります。

議会要望に対する回答

要望事項	(3) 茂市地区の水害防止対策について 大雨等で閉伊川が増水すると刈屋川が逆流して刈屋川下流域である茂市地区で度々水害に見舞われる。 については、両河川の合流地において、現在の閉伊川の右岸流域を拡幅し水害防止対策を講じるよう市から県に対して働きかけるよう要望する。
回答	昨今頻繁に発生する豪雨災害等に対する減災対策は急務であり、河道掘削や築堤などの整備は有効な手段と考えています。 要望の箇所について、岩手県に確認したところ、「平成 28 年台風第 10 号災害を踏まえ、刈屋川の河川改修を実施し、令和元年度に完成した」とのことです。 また、「閉伊川と刈屋川の合流地点の土砂堆積状況については、規模の大きい河川の合流点であることから、定期的に点検及び確認をし、必要に応じて河道掘削を実施していく」との回答でありました。 市としましては、閉伊川の河道掘削をはじめとした河川の適切な維持管理、整備について、継続して取り組んでいくよう、岩手県に対し要望してまいります。

議会要望に対する回答

要望事項	(4) 太長根地区の水害防止対策について 閉伊川流域の太長根地区は台風第 10 号で河川が氾濫し、大きな水害を受けた。 については、気候変動リスクに急いで備えるために、太長根地区に築堤（盛土）を築くよう市から県に対して働きかけるよう要望する。
回答	昨今頻繁に発生する豪雨災害等に対する減災対策は急務であり、河道掘削や築堤などの整備は有効な手段と考えています。 要望の箇所について、岩手県に確認したところ、「当該区間は未改修であり、整備が必要であると認識しているが、要望の箇所での築堤は、河川断面を大きく狭め、流下能力の低下を招く恐れがあることから、実現は困難である」との回答でありました。 市としましては、流下能力を確保するよう、河道掘削をはじめとした河川の適切な維持管理、整備について、継続して取り組んでいくよう、岩手県に対して要望してまいります。